

## 平成 27 年度事業計画書

戦後 70 年、21 世紀に入って 15 年目を迎えた今年、最大の課題は地方創生にあると言っても過言ではない。地方の活性化なくして日本の成長戦略はあり得ない。関西地域には多様な伝統や文化があり、それらを活かすことで創造的な日本の未来を開くことが出来る。

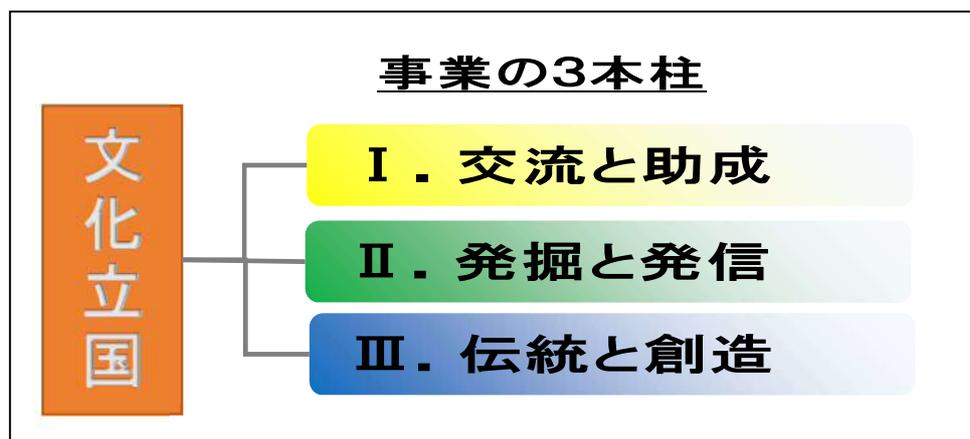
当協会は設立以来一貫して、文化で社会の活性化をはかるべく事業を継続してきたところである。

昨年 4 月、日本万国博覧会記念機構から承継した基金事業と、経済団体と協力して設立した民間版の文化支援組織「アーツサポート関西」は着実な成果を上げつつある。国や自治体が文化に十分な予算を割けない中で、文化を通じ国際的な相互理解を深める活動、民による文化振興の助成や「大阪文化祭賞」などのアーティスト支援事業を積極的に展開してきた。こうした「交流と助成」活動を本年度事業の第 1 の柱とする。

第 2 の柱は「発掘と発信」—関西・大阪のブランディングとしたい。

経済界・府・市が毎年、計 1 億円を出し合い取り組んだ「大阪ブランドコミッティ」（2004～2007 年）、「はなやか関西」の流れを汲むもので、地域創生やその振興策としての「オリンピック文化プログラム」への取り組みが重要視される中、関西・大阪のポテンシャル—歴史や文化に根ざした地域の魅力を発掘し、発信することを目指す。

第 3 の柱は、発掘した関西・大阪の魅力を磨き上げ、新たな価値を創造する活動、「伝統と創造」とする。「水都大阪」、「大阪城」、「食文化」、「上方文化」といった関西の魅力を関係団体とのコラボレーションによって新たなまちづくりを活かし、これまでの社会実験の成果を踏まえ、事業の自立を目指すこととしたい。



# 事業の3本柱

文化立国

## I 交流と助成

日本万国博覧会記念基金

アーツサポート関西

アーティスト支援

- ・大阪文化祭賞
- ・アート・アセンブリー
- ・アートストリーム2015

## II 発掘と発信

シンポジウム・フォーラムの開催

- ・関西・大阪文化力会議
- ・北前船寄港地フォーラム

関西ブランドの発掘と研究

- ・食博2017
- ・関西食文化の発掘
- ・「関西釣り文化」のブランディング
- ・ミナミ上町台地調査・研究
- ・「なにわ大坂100人選」プロジェクト
- ・関西ブランド映像の制作と発信
- ・御堂筋でのバナー事業展開

関西ブランドの発信事業

- ・「KANSAI\*OSAKA文化力」発行
- ・ホームページ展開

ネットワーキング

- ・21cafe
- ・協会事業への理解促進

## III 伝統と創造

まちづくり

- ・平成OSAKA天の川伝説2015
- ・大阪城フェスティバル2015
- ・DOORS

無形文化遺産の保護・育成

- ・「日本の文化に親しむ」公演・講演、シンポジウム等
- ・季刊雑誌「やそしま」発行
- ・今宮戎神社宝恵駕行事
- ・住吉大社御田植神事

## I. 交流と助成(相互理解と文化支援)

### 1. 「日本万国博覧会記念基金」事業(公益目的事業2)

「日本万国博覧会記念基金」の運用益の一部をもって日本万国博覧会の成功を記念するに相応しい「国際相互理解の促進に資する活動」や「文化的な活動」に対する助成金を交付する。

あわせて、大阪府が行う日本万国博覧会記念公園の運営管理に寄附金を拠出し、人類の進歩と調和に貢献する。

#### ア. 助成事業

##### A. 助成分野

##### 1) 国際相互理解の促進に資する活動

- ・国際文化交流、国際親善に寄与する活動
- ・学術、教育、社会福祉、医療及び保健衛生に関する国際的な活動
- ・自然の保護、その他人間環境の保全に関する国際的な活動

##### 2) 文化的活動

- ・日本の伝統文化の伝承及び振興活動
- ・芸術及び地域文化に関する活動

##### B. 重点テーマ

- 1) 留学生の交流などの「国際文化交流、国際親善に寄与する活動」
- 2) 文楽などの「日本の伝統文化の伝承及び振興活動」

##### C. 助成予定総額 約1億円(国内外事業助成総額)

##### D. 助成活動

- ・採択事業の中から半数程度の実地調査を行う。
- ・助成事例発表会、交流会の実施
- ・模範的な団体のノウハウ共有と、対外発信の強化
- ・採択事業の事業完了後、報告書の提出を受け、助成金を交付
- ・採択事業の申請書、報告書及び実地調査の内容を見て事後評価

##### E. 平成26年度助成事業の繰越

平成26年度助成事業のうち、事業の完了時期が平成27年度となる事業について事業の繰越を行う。

F. 助成金の効果的な活用に向けた制度の改正

平成28年度助成事業の募集に向けて、助成金の使途制限の緩和等申請者の利便性の向上や申請から審査までの事務の簡素化を図る。

G. 平成28年度助成対象事業の募集活動

募集方法 ホームページへの掲載や関係機関への募集要項送付

募集説明会 大阪会場に加え、東京での開催も検討

募集時期 平成27年7月～9月

助成予定総額 約1億円（国内外事業助成総額）

H. 平成28年度助成対象事業者の選定

専門部会、審査会の開催

開催時期 平成27年12月～平成28年2月

I. 平成28年度助成金交付事業者の決定

J. 「日本万国博覧会記念基金事業の中期構想を考える懇談会（仮称）」設置

日本万国博覧会の理念である「人類の進歩と調和」に貢献できる事業のあり方を有識者による懇談会を設置して議論いただき、日本万国博覧会記念基金事業の中期ビジョンをまとめる。

イ. 大阪府が設置する万博記念公園の運営管理に寄附する事業

寄附予定額 約1.5億円

2. 「アーツサポート関西」（「ASK」）（公益目的事業3）

広く民間から寄附を集め、関西の文化・芸術分野で活動する個人や団体に助成することにより、関西の優れた伝統文化の継承、新たな価値の創出を推進するとともに、関西の寄附文化の醸成を図る。

## ア. 寄附募集活動

アーツサポート関西の意義や税制上の優遇制度を広く告知し、信託銀行との連携やクレジットカードのポイントを寄附して頂く手法を織り交ぜながら、個人、企業、経営者、従業員から広く寄附を募る。

- A. 「周年企業」への働きかけ
- B. 信託銀行との連携
- C. クレジットカード等のポイント交換による寄附
- D. 関西経済同友会の協力により
  - ・「サポーターズクラブ」メンバーの継続と拡大
  - ・寄附型自動販売機の紹介と斡旋
- E. アーティストとの連携によるチャリティイベントの企画と推進

## イ. 助成事業

### A. 助成分野

「美術・デザイン」、「音楽」、「演劇」、「ダンス」、「映像・映画」、「伝統芸能」、「特定のジャンルにとらわれない複合的な文化・芸術活動」に助成する。

### B. 助成活動

#### 1) 公募助成対象事業への助成

平成26年度に募集、審査して交付決定した公募助成対象事業（総額約1,000万円）への助成と事業完了後の評価を行う。

#### 2) 特定型の助成

特定型個別寄金の寄附者の意向に基づき、助成先を審査し、助成する。 助成額 約800万円

### C. 平成28年度 募集活動

公募助成対象事業の募集

募集方法 協会ホームページへの告知、関係先へのメール等で案内

助成額 約1,000万円

募集期間 平成27年10月～11月中旬

### D. 評価・審査委員会、運営委員会の開催

文化、芸術の専門家や外部有識者による評価・審査委員会において助成対象事業の選考を行い、運営委員会・理事会で承認・決定する。

評価・審査委員会開催	平成28年1月
運営委員会	平成28年2月
助成金交付決定	平成28年3月

#### ウ. 寄附文化醸成活動

- A. 助成先への見学などを行い、寄附者、サポーターとアーティストとの交流を図り、寄附文化を醸成する。
- B. 法人や個人を対象にしたASKの活動の説明会等を開催する。

#### エ. 広報活動

- A. 特定型個別寄金の寄附者との共同記者会見
- B. 募集開始、公募助成先決定などのマスコミ発信
- C. 助成事例の紹介、新しい寄附集め方策の提案発表

### 3. アーティスト支援

#### ア. 大阪文化祭賞（公益目的事業1）

大阪の芸術文化活動の奨励及び普及を図り、文化振興の気運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに大阪府内で行われる公演を対象に、特に優れたものを顕彰する。

平成26年度からはより幅広く公演を顕彰できるよう、年間を通じて大阪府下で行われるすべての公演を対象に変更し、優れた成果をあげた個人または団体に賞(表彰状・表彰楯・副賞)を贈呈する。

主 催 大阪文化祭実行委員会

(大阪府、大阪市、(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局))

贈 呈 式 平成28年2月～3月

#### イ. アート・アSEMBリー(公益目的事業1、その他事業1)

大阪文化祭賞受賞者及びアーツサポート関西の助成先など、音楽・芸術分野における優れたアーティストたちを経営者や有識者、報道関係者に広く紹介するための発表と交流の場づくりを行う。異分野間のアーティストによるコラボレーションなどクオリティの高い演出を行い、話題

性のある事業を目指す。

主 催 (公財)関西・大阪21世紀協会

実施時期 平成27年5月～6月

ウ. アートストリーム2015 (公益目的事業1)

公募選考により、関西一円で活躍する若手アーティストやクリエイターを発掘し、作品発表の場を設けるとともに、マスメディアや芸術関係者とのビジネスマッチングの機会を提供し、関西の芸術・文化の高揚を図る。あわせて、新進気鋭のアーティストの協力を得て、幅広く出展者の参画を促す。「企業・ギャラリー賞」については、さらなる拡充を図り、アーティストの活躍の舞台を増やす。また、今年度からアジアへの発信力を持ったアートイベントとするべく、具体的なスタディを開始する。

主 催 アートストリーム実行委員会

大阪芸術大学、大阪府、大阪市、  
(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局)

実施時期 平成27年秋

エ. 後援・協力事業 (その他事業1)

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援 (後援名義の使用許可、賞状・楯の授与等) を行い、当協会が発刊する「KANSAI\*OSAKA 文化力」やホームページ、メールマガジンで広く活動を紹介する。

## II. 発掘と発信(ブランディング)

### 1. シンポジウム・フォーラムの開催

ア. 関西・大阪文化力会議 (公益目的事業1)

国内外の有識者を招聘し、日本文化が、人類の進歩と調和の理念発展に貢献する方策や、関西の果たすべき役割を議論し、提言する。

主 催 (公財)関西・大阪21世紀協会、

実施時期 平成27年9月 (予定)

#### イ. 北前船寄港地フォーラム（公益目的事業1）

江戸時代中頃から明治時代中頃まで、日本海を經由して北海道と大阪を結んだ「北前船」は広範囲の物流ネットワークに留まらず、日本海側に広域経済圏を形成し、文化交流にも貢献してきた。

寄港地となった都市が連携して、地域創生に寄与する「北前船寄港地フォーラム」が今年、大阪で開催される。当協会が実行委員会の事務局を務めるとともに、寄港地間の連携により広域観光推進の事業に参加し、国が進める地域創生戦略に貢献する。

主 催 「北前船寄港地フォーラム in 大阪」実行委員会

（ 関西経済団体、運輸、旅行、ホテル等各社、  
（公財）関西・大阪21世紀協会（事務局） ）

実施時期： 平成27年7月17日～18日

## 2. 関西ブランドの発掘と研究

#### ア. 食博2017（公益目的事業1）

食博覧会実行委員会、大阪外食産業協会とともに「食博2017」の主催者として当協会が参画。2020年に800万人の観光集客を目指す関西にとって「食」は重要なコンテンツとなる。「食」の博覧会の成功に寄与するとともに、関西の食文化を広く世界に発信する方策を探る。

#### イ. 関西食文化の発掘（公益目的事業1）

A. 天皇に鮮魚を献上した「御食国」をテーマにケーブルテレビ社とのコラボレーションにより、関西の食文化の魅力を発信する番組を制作する。CATVで放映後は当協会ホームページのコンテンツとして動画を掲載。英訳版字幕スーパーへの取り組みも検討する。

B. 大阪の若手ラーメン職人によるエッセイ「ドンブリー一杯の小宇宙を」を継続掲載する。苦難を乗り越え、海外出店を果たした若者の夢と、関西の食文化へのこだわりを追う。

ウ. 「関西釣り文化」のブランディング（公益目的事業1）

日本の漁具や漁法、漁や釣技は多くが関西発であり関西の釣り文化を深掘りすることは、関西のブランド発掘につながる。映像、誌面、ホームページによる発信をメディアミックスで行い、関西釣り文化のブランディングを試みる。

エ. ミナミ上町台地調査・研究（公益目的事業1）

大阪、上町台地の歴史や伝承を探り、語り継がれてきた催事の実地調査を行い、その歴史的役割や大阪のアイデンティティを探る。今年度は「富田林市周辺」を重点地域としてフィールドワークを行う。

実施時期 平成27年春から秋 見学・探訪実施予定（3回程度）

オ. 「なにわ大坂100人選」プロジェクト（公益目的事業1）

古代から近世までの「なにわ大坂」で活躍した100人を選定し、時代背景や現代に生きる伝統の情報を収集し、蓄積を図る。活動の中で、古代日本発祥の地である「なにわ大坂」に受け継がれてきた伝統や伝承を確認し、「日本のアイデンティティ」の確立を目指す。成果は順次ホームページで発表、報告書の出版を目指す。

実施時期 平成25年度～28年度

カ. 関西ブランド映像の制作と発信（公益目的事業1）

関西の四季折々の風景やお祭り、季節の風物詩など関西の魅力を収めた映像を制作。関西国際空港、伊丹空港で上映し、国内外から関西を訪れた観光客に関西の魅力を訴求する。あわせて著作権フリーのライブラリーとして利用拡大を図る。

四季の関西ブランド映像集

『Welcome to KANSAI ～四季の関西・大阪の魅力～』

キ. 御堂筋でのバナー事業展開（収益事業）

当協会が保有する街路灯のバナー取付具を活用し、御堂筋や長堀通り等の市道のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、都市景観の向上を図る。

### 3. 関西ブランドの発信事業（公益目的事業1）

#### ア. 「KANSAI\*OSAKA 文化力」の発行（公益目的事業1）

関西・大阪のブランド力の向上を目的として、当協会の取り組みや芸術・学術・技術の三術をはじめ、生活文化、祭事、スポーツなど、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を発信するブランド誌を発行する。

公立図書館や大学、高校、公的機関等へ広く配布

発行回数 年3回

#### イ. ホームページ展開（公益目的事業1）

当協会が主催する芸術文化活動、伝統行事など様々な事業の最新ニュースを動画やウェブマガジンを通じてタイムリーに発信する。

また、「メールマガジン」を活用し、協会の事業の取り組みや協会が後援するさまざまなイベントをタイムリーに情報発信する。

### 4. ネットワーキング

#### ア. 21cafe（その他事業1）

関西・大阪で文化創造活動や街づくりに携わる多彩なゲストを招き、話題提供と情報交換をサロン形式で開催する。異分野の参加者が交流し、新しいアイデアやコラボレーションを生み出す場を創出するとともに、マスコミ関係者をはじめ、当協会の人的ネットワークの幅と厚みを拡大し、文化力向上の一助とする。

実施回数 通年（年4回）

#### イ. 協会事業への理解促進（その他事業2）

賛助会員向けに発行する「協会だより」や講演会・交流会を行い、活動事業のPRや協会事業への理解を深める。

### Ⅲ. 伝統と創造(コラボレーション)

#### 1. まちづくり

##### ア. 平成OSAKA天の川伝説2015 (公益目的事業1)

八軒家浜界隈に「いのり星®」を放流し、大川の川面に天の川を描く「平成OSAKA天の川伝説」は水都大阪を彩る七夕の風物詩として定着してきた。大阪の夏祭りのキックオフ行事として、水都大阪の観光集客催事としてのさらなるパワーアップを果たすため、実行委員会の法人化を視野に入れた推進体制の強化と、水上安全協会と連携し、リスクの回避に万全を期するとともに、地元企業のコミットメントを高め、財務体制の基盤強化を図る。

共 催 平成OSAKA天の川伝説実行委員会(法人化を視野)  
(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局)

実施時期 平成27年7月7日

##### イ. 大阪城フェスティバル2015 (公益目的事業1)

大阪城を舞台にした「舞台芸術の情報発信の強化」、「賑わい創出」を目的として、これまで大阪城周辺で繰り広げられる様々なイベントの主催者が協力し、合同告知パンフレットの作成や、西の丸に共用ステージを設営・運営する事業を展開してきた。本年度は大阪府、大阪市が実施する「大坂の陣400年・夏の陣」と連携し、西の丸庭園でのイベントを検討する。

具体的なコンテンツは、高校吹奏楽、テレビ公開番組等が考えられるが、これまでの西の丸庭園や追手門、水上オペラなどの社会実験を踏まえ、収支の見合う事業を行う。当初予算は調査費として計上し、実施の見込みがついた時点で補正予算を組む。併せて昨年開催した「エレクトリックラン」を「大坂の陣400年・夏の陣」連携事業として開催することを検討する。

主 催 大阪城サマーフェスティバル実行委員会

〔 大阪府、大阪市、経済団体等、  
(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局) 〕

実施時期 平成27年7月～11月

ウ．国際ワークショップフェスティバル「DOORS」  
(公益目的事業1)

ワンコインで「文化を体験する」楽しさを提供し、市民の創造活動を誘発する。古典芸能からポップカルチャー、最新アートなど、ワンコイン(500円)で体感できる体験型ワークショップを集中開催する。昨年度は親子や未就学児童向けの講座も開催し、好評を得た。9回目を迎える今年度は、大阪市内の広域展開を目指す。

主 催 International Workshop Festival 実行委員会  
〔 大阪市、LLPアートサポート、  
(公財)関西・大阪21世紀協会 〕

実施時期 平成27年7～8月

2. 無形文化財の保護・育成(公益目的事業1)

(財)上方文化芸能協会から承継された上方文化芸能振興事業及び上方伝統行事を当協会の上方文化芸能運営委員会が実施、協賛し、当協会の諸事業との相乗効果や総合力を発揮するように展開を図る。また上方伝統行事については、記録映像をライブラリー化し、協会ホームページで発信する。

ア. 上方文化芸能振興事業 伝統文化行事の伝承者の育成

A. 「日本の文化に親しむ」の公演・講演、シンポジウム等

1) 上方の伝統芸能の開催

2) 上方文化を味わう

B. 季刊雑誌「やそしま」の発行

C. 上方の文化、芸能の資料収集等

イ. 上方伝統行事

A. 今宮戎神社宝恵駕行事(平成28年1月10日)

B. 住吉大社御田植神事[重要無形民俗文化財](平成27年6月14日)

IV. その他

中期計画の策定

外部有識者を交え、当協会事業の中期計画(平成29年度から5か年)の策定に着手する。